

# パルシステム山梨 オープンカレッジ 2010 食の講演会

今年度も引き続き「パルシステム山梨オープンカレッジ2010」として  
「地域に活力!」「耕せ!日本の食と農」「国産優先」をテーマに、展開致します!!

第1弾

今、最も注目の科学者!!

福岡 伸一さんを招いて!

「生きることは、食べること」

「生きる事と食べる事の本質的な意味とは?私たちは毎日毎日、食べなければなりません。どんなにご馳走を食べたとしても、次の日にはもうお腹がすきます。もし、子どもや家族から、どうして食べ続けなければならないの?と問われたらあなたは何とお答えになるでしょう・・・(福岡伸一氏著作/生命と食から)」。淡々と、そして衝撃的なこの問いかけにあなたなら何を感じ、何を求めようとするでしょう。遺伝子組換え作物、食品添加物、食品本来の姿を隠してしまったこれらの物質は果たして私たちの生命体とどのように関わっているのでしょうか?生命の神秘について、そしてそこには欠かせない「食べる事」について生物学の見地から鋭く、そしてロジカルに解き明かします。生命体とは?遺伝子とは?リスク論の落とし穴とは?あなたも、生命体のミクロの遺伝子たちが興奮するようなスリリングな1時間半をご一緒しませんか?

●日時: 2010年7月4日(日)

開場: 13:30

開演: 14:00

●会場: 山梨県立文学館・講堂(甲府市貢川1丁目5-35)

●講師: 福岡 伸一さん(分子生物学者)

●定員: 500名(駐車場が込み合いますので乗り合わせ等でご来場下さい。)

●入場: 無料(どなたでも入場いただけます。ご家族で、

お友達で複数申し込み可。)

●主催: 生活協同組合パルシステム山梨

●後援: 毎日新聞甲府支局 テレビ山梨 朝日新聞甲府総局 (株)山梨新報社



## ~講師紹介~

福岡伸一さん。1959年東京生まれ。京都大学卒。米国ハーバード大学医学部博士研究員、京都大学助教授などを経て、現在、青山学院大学理工学部、化学・生命学科教授。分子生物学専攻。専門分野で論文を発表するかたわら、一般向け著作・翻訳も手がける。2007年に発表した『生物と無生物のあいだ』は、65万部を超えるベストセラーとなり、サントリー学芸賞、および中央公論新書大賞を受賞。他の著書に『プリオン説はほんとうか?』『ロハスの思考』『できそこないの男たち』『動的平衡』『世界は分けてもわからない』など。週間文春の連載エッセイをまとめた『ルリボシカミキリの青』も好評。現在、ヒトがつくりかえた生命の不思議に迫る番組、NHK-BS「いのちドラマチック」にレギュラーコメンテーターとして出演中。また、生物多様性の大切さを伝えるための環境省の広報組織「地球いきもの応援団」のメンバーもつとめる。

お問い合わせ・お申し込み先: パルシステム山梨 担当/和田、根岸

電話番号: 055-243-6327 月~金 9:00~17:30

パルシステム山梨URL: <http://www.palsystem-yamanashi.coop/>